

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月13日(金)

事務事業		特殊車両通行許可事務				担当課	道路管理課	担当係	管理係	管理番号	48131
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり				根拠法令 個別計画等	道路法、車両制限令			
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進								
	主要プロジェクト										
事業概要		道路法に基づき、車両制限令の規定による車両の幅や高さ、重さが超える車両（以下「特殊車両」という）を通行させる場合の許可事務である。また、他の道路管理者と市道の通行を含む二つ以上の道路管理者の通行区間に係る申請において国道、県道の道路管理者からの協議に対する同意事務を行うものである。									
目的 ※何のために		道路の構造の保全、または交通の危険防止									
対象 ※誰・何を対象に		「特殊車両」を市道に通行させようとする者									
手段 ※どのように		「特殊車両」の通行の申請書及び協議書に基づき審査し、許可及び同意を行う。									
成果 ※何を求めるか		適切に許可等を行い、道路構造の保全、交通の危険防止ができる。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NP0等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 国・県 ）									
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・ 車両制限令に基づく証明・許可						・			
		・ 特殊車両の通行協議						・			
		・						・			
		・						・			
		・						・			
		・						・			

2. 事業費（投入コスト）

※令和6年度は決算見込み額です。

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	0	0	0	0			
	決算額	0	0	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	0.83	0.86	0.86	0.86			
	人件費相当試算※	6,531,733	6,888,742	7,071,128	7,333,925			
総事業費試算		6,531,733	6,888,742	7,071,128	7,333,925			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
		実績値の算出式							
活動指標 1	申請・協議受理件数	目標値	件						
		実績値		416.00	368.00	362.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請件数は外的要件に左右され、設定になじまないため、目標値は設定していない。 / 特事受付簿						
	実績値の算出式								
成果指標 1	許可率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値		100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		全件許可を目指すため、100%を目標値として設定している。 / 許可件数/受理件数×100						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	国県道の道路管理者からの協議件数は、前年度より6件減少したがおおむね前年度並みの件数であった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	国県道の道路管理者からの協議について審査し、すべての協議件数に対して速やかに許可することができた。
			評価者 管理係長 新井 創

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	国県道の道路管理者からの協議については、許可まで概ね7日以内で適正に協議内容の審査を行うと共に、書面上で不明な部分がある協議案件については、道路台帳で進行経路の確認を行うなど、許可事務の運用を執行することができた。 なお、国土交通省の道路情報便覧への市道の情報登録を進めていることで、効率的な事務が可能となっている。
			評価者 管理係長 新井 創